

学級活動指導案

令和3年6月24日(木) 第5校時

第4学年1組 授業者：若林 希美

- 1 議題「1学期のお楽しみ集会です『みんなで協力してできる遊び』を決めよう」
(学級や学校における生活上の諸問題の解決)

2 議題について

(1)児童の実態

本学級の児童は、明るく、様々な活動に対して活発に取り組むことができる児童が多い。感染症対策で、活動や行事の制約がある中でも係活動を工夫しながら行い、クラスのみならず楽しく過ごせるような活動を考えながら学校生活を送っている。男女分け隔てなく関わることができる児童がほとんどで、学級遊びや、休み時間も声を掛け合って仲良く遊んでいる姿が見られる。

学級活動については、学級会オリエンテーションを行い、学級会の進め方や約束などについて共通理解を図り、様々な議題を取りあげ実践を積み重ねてきた。授業や学級会の中では、仲間の考えやその理由を聞き取ることや、自分と違う考えを否定するのではなく、よさを見つけたり、互いの考えを合わせたりして、新しい考えを創り出すことを大切にしている。しかし、仲間と自分の意見が違う時に、否定的な言葉を使ってしまったり、相手の意見を素直に認められなかったりする児童や、他人任せな態度で、自分たちで活動を計画し、問題を解決していこうとする意識が低い児童もいる。

(2)議題化までの流れ

5/24	提案ボックスの中に「学級が協力できていない・給食中静かにできていない」「1学期末にクラスで楽しい集会活動をしたい」等の意見が入った。
5/28	学級でどちらの議題から話し合うかを尋ねたところ、「今のクラスの課題を解決していない状態で集会活動をして楽しくない」という意見が多く出た。そのため、課題について取り組み、心を一つにできてから集会活動を行うことになった。
6/1	学級全員で「クラスがよりよくなる取り組みを考えよう」という議題を決定した。
6/10	第4回学級会を行い、内容や方法、役割分担などについて意見を出し合ったり比べ合ったりしながら話し合い、合意形成を図った。
6/14～	学級会で決定した取組を行った。
6/16	学級全員で、「1学期のお楽しみ集会です『みんなで協力できる遊び』を決めよう」という議題を決定した。
6/24	第5回学級会を行う。

3 評価規準

より良い生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間性をよりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学校・学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し活動の方法を身に付けている。	みんなで楽しく豊かな学校・学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして、合意形成を図り、協力して実践している。	楽しく豊かな学校・学級生活をつくるために見通しをもったり、振り返ったりしながら、仲間と協力して日常生活の向上に取り組もうとしている。

4 研究テーマに迫るための手立て

(1)(研究内容2)【実践】 ①話し合い活動を充実させるための指導の工夫

- ①児童の主体性を大切にし、児童中心の話し合いを大切にするために、教師が「よい意見ですね」などのように児童の話し合いの内容を方向付けるような助言は控え、児童中心の話し合いになるようにする。
- ②教師が話し合いの全体の流れを捉え、一人一人の児童の考えを注意深く聞き取り、発言の仕方の良さや、話し合いの進め方のよさを適切な場面で助言するようにする。指導案の中にも指導・助言を明確に位置づけ、児童による自発的、自治的な活動になるようにする。
- ③「ネームプレート」や「話し合いの流れ」、「今どこの段階かを示すマーク」などの掲示によって、一人一人が自分の意見を持ち、仲間の意見と比べながら話し合いに臨むことができるようにする。

(2)(研究内容2)【実践】 ②話し合いを活性化するための事前の活動の工夫

- ①議題は、児童が提案ボックスに入れた意見から選定することで、話し合う必要感を持たせるようにした。どんなことが議題になるのかをオリエンテーションで話したり、必要に応じて声掛けしたりすることで、児童が学級生活の問題に気付くことができるようにした。教室には、議題や提案理由、話し合いのめあてなど、共通理解しておかなければならないことを事前に掲示しておくことで、児童が話し合いの内容に興味をもち学級会への参加意欲を高めるようにした。

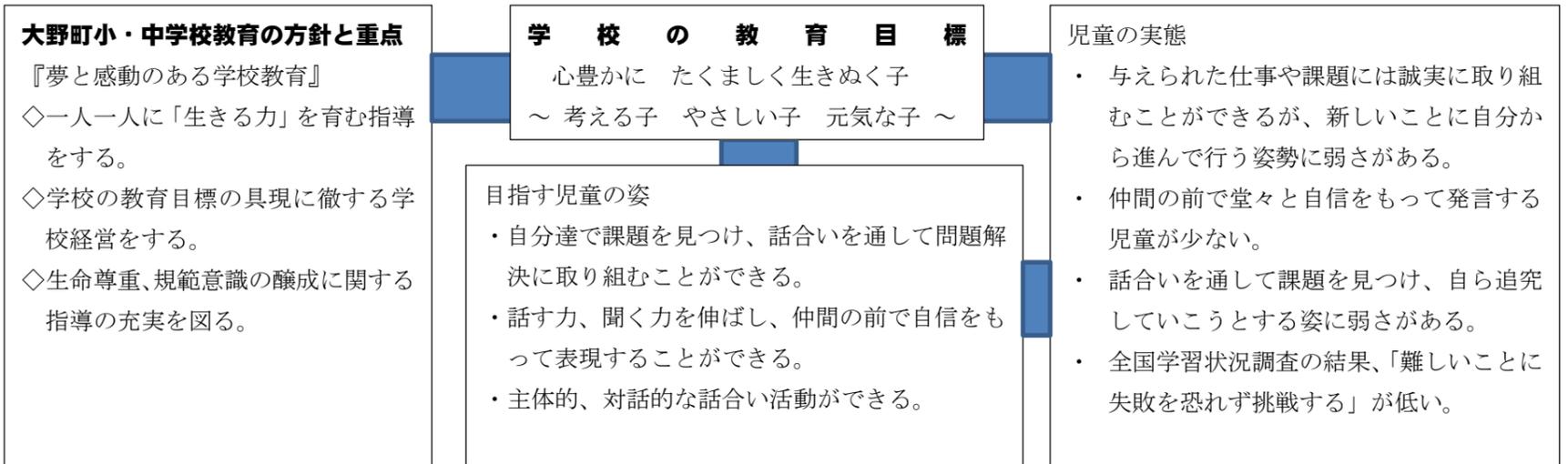
5 本時の目標

1 学期の集会活動で行う遊びを決める活動を通して、異なる意見のよさに耳を傾け、「みんなで協力してできる遊び」という視点を大切に合意形成することができる。

6 本時の展開

過程	主な学習活動	見届ける視点(◇)と指導・助言								
<p>つかむ</p> <p>出し合う</p> <p>比べ合う</p> <p>決める</p> <p>振り返る</p>	<p>1 話合いの議題と提案理由を確認する。</p> <p><議題></p> <p>1 学期のお楽しみ集会です「みんなで協力できる遊び」を決めよう。</p> <p>提案理由</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>クラスの課題を取り組んできて、協力できる日が増えてきました。そこで、もっとみんなの心を一つにしたいです。だから、最後のお楽しみ会では、協力してできる遊びをしてこのクラスをもっと高めて1学期を終わりたいと思ったからです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> <p><決まっていること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会は2時間以内 ・7月の終わりに行う ・遊びは2つ ・準備・片付けに時間がかからない遊び ・みんなで協力しないとできない遊び </div> <p>2 提案理由を基に、原案のよさを出し合う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">巨大 おりがみ</th> <th style="width: 25%;">仲間集め ゲーム</th> <th style="width: 25%;">バースデー チェーン</th> <th style="width: 25%;">箱つみ ゲーム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大きな紙を折ることは1人ではできないので、みんなと声をかけあって協力して作ることができるので、いいと思う。</td> <td>男子も女子も関係なく色々な子と仲良くできるし、たくさんの友達に声をかけるから、協力できそう。</td> <td>友達のことが今よりも知れるし、色々な子に話しかけるから、友達との仲が深まりそう。</td> <td>倒れないように教え合いながら、楽しく遊べる。崩れても励まし合えば楽しくできるのではないかな。</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 どのような遊びがよいか、比べ合って決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初、巨大おりがみがいいと思っていたけれど、みんなの意見を聞いて、仲間集めの方がより協力して遊べるのでいいなと思いました。 ・箱つみも楽しそうだけれど、準備が大変だと思うので、バースデーチェーンの方がよいのではないかなと思いました。 ・みんなの意見を聞いて仲間集めゲームは、他の遊びよりも友達のことをくわしく知ることができるからいいと思いました。今日の議題の「協力してできる遊び」に近いのではないかなと思いました。 <p>4 決まったことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の話合いで決まったことと、話し合いの中で見つけた仲間のよさを司会者グループが伝える。 <p>5 教師の話聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる立場の仲間の思いや考えを取り入れて、全員が納得できる内容を決めることができた成長を価値付ける。 ・司会者グループが司会進行のために事前の準備をしたこと、少数意見や提案理由を大切に話し合いをしたことを価値付ける。 	巨大 おりがみ	仲間集め ゲーム	バースデー チェーン	箱つみ ゲーム	大きな紙を折ることは1人ではできないので、みんなと声をかけあって協力して作ることができるので、いいと思う。	男子も女子も関係なく色々な子と仲良くできるし、たくさんの友達に声をかけるから、協力できそう。	友達のことが今よりも知れるし、色々な子に話しかけるから、友達との仲が深まりそう。	倒れないように教え合いながら、楽しく遊べる。崩れても励まし合えば楽しくできるのではないかな。	<p>◇本時の提案理由を理解して、何を話し合うかを捉えているか。(表情・反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会者に決まっていることを確認するように助言する。 <p>研究内容2-②⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話合いが条件に沿って進むように、話合いで大切にしている視点を教師が全体に助言する。 <p>◇提案理由や決まっていることと、これまでの経験を基に、自分の考えに理由を付けて発言できているか。(発言内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決まっていることや、これまでの経験を基に話す姿、異なる立場の児童の思いを意識して発言している姿を価値付ける。研究内容2-①④⑥ <p>◇異なる仲間の意見に共感的に耳を傾け、良さを比べ合いながら合意形成することができるか。(発言内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が自分の立場をはっきりさせて話合い活動が進むようにグループ交流後にネームプレート張り替える時間を設ける。研究内容2-①③ ・少数意見の児童の気持ちも確認しながら、決定していくことを助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価規準</p> <p>◇異なる他者の意見のよさにも耳を傾けながら、全員が納得することができる遊びを合意形成することができる。(発言内容)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見だけでなく、異なる意見に耳を傾けた児童のよさを価値付け、合意形成に至る良さを自覚できるようにする。研究内容2-①⑥
	巨大 おりがみ	仲間集め ゲーム	バースデー チェーン	箱つみ ゲーム						
大きな紙を折ることは1人ではできないので、みんなと声をかけあって協力して作ることができるので、いいと思う。	男子も女子も関係なく色々な子と仲良くできるし、たくさんの友達に声をかけるから、協力できそう。	友達のことが今よりも知れるし、色々な子に話しかけるから、友達との仲が深まりそう。	倒れないように教え合いながら、楽しく遊べる。崩れても励まし合えば楽しくできるのではないかな。							

令和3年度 研究構想



研究テーマ：「仲間とのかかわりを通して、よりよく生きようとする児童の育成」
～ 学級会の話し合い活動を核にして ～

研究仮説

- ① 6年間での話し合い活動におけるつきたい力を明確にして、見通しをもった年間指導計画を作成することで、自信をもって話合うことのできる児童を育成することができる。
- ② 話し合い活動を通して児童の姿がどのように変化したのかを評価し明確にすることで、より効果的な話し合いの PDSC サイクルを創ることができる。

（研究内容1）【計画】 つきたい力を明確にした学級活動の年間指導計画の作成と他領域との連携	（研究内容2）【実践】 つきたい力を明確にした話し合い活動の段階的指導・援助の在り方	（研究内容3）【評価】 成長の様子を的確に評価する指導の在り方
<ol style="list-style-type: none"> ① 1単位時間の役割を明確にした、各学級の年間指導計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた話し合いの仕方を位置付ける。 ・児童と教師の出場を明確にする。 ・評価の観点を位置付ける。 ② 6年間分の全体指導計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に合わせる。 ・学年の系統性を見直す。 ③ 行事との関連構想図の作成 他領域との関連構想図の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、児童会行事との関連 ・道徳、教科、総合的な学習との関連 ・委員会 クラブとの関連 	<ol style="list-style-type: none"> ① 話し合い活動を充実させるための指導の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの内容を吟味する。 ・話し合いの仕方の段階的指導を工夫する。 ・話し合いの時間を確保する。 ・話し合いの役割分担をする。 ・教師の出場を明確にする。 ② 話し合いを活発化するための事前の活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・問題意識を高める工夫をする。 ・興味関心を高める工夫をする。 ③ 次の活動に対する意欲を高める事後の活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・取組の努力を振り返る工夫をする。 ・次の課題見つけの工夫をする。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 自己肯定感を高める自己評価の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・評価項目の工夫 ・学習の振り返りの工夫 ② 教師による評価の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・授業のねらいとする児童の姿に対する評価の工夫 ③ 成長を自覚させるための仲間や保護者からの評価の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・仲間からの評価の工夫 ・保護者からの評価の工夫 ④ 個の成長、集団の成長を自覚させるための評価の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・取組前後の評価の工夫 ・評価の蓄積からの読み取りの工夫

他教科、他領域等との関連		
1年：学校探検、給食・掃除 4年：地域の歴史	2年：老人クラブとのグランドゴルフ、畑作業 5年：米づくり、星の家宿泊研修	3年：柿作り 6年：福祉事業所訪問 なかよし遊びの運営 修学旅行
学校行事との関連 始業式・終業式 命を守る訓練 運動会 ひびきあい集会 ようこそ1年生の会 はばたけ6年生の会		集団との関連 分団児童会 なかよし班 委員会 クラブ
地域・保護者との関連 地域や保護者への情報発信・啓発活動 学校運営協議会との関連		

成果と課題